

平成23年度事務事業評価シート（平成22年度分）

予算科目	会計	一般会計	001	款	07	項	01	目	04
事務事業名	茶屋っこ一里塚管理事業（道の駅かみおか）								
担当部署	神岡支所市民サービス課	4201000	電話	0187-72-2111			内線	141	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	03:活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり
	施策の大綱	04:観光の振興
	施策	03:特産品の振興
	施策の内容	01:宣伝、販売体制の確立
根拠法令等	大仙市神岡生産物直売・食材供給施設条例・管理規程	

◆計画Plan

事業の目的 （何のためにこの事業を行うのか）	生産物及び特産品の販売促進並びに掘り起こしを図り、もって地域の活性化に寄与する。
事業の対象 （事業の対象となる人、物など）	道の駅かみおか利用者
事業の内容 （具体的にどのような活動をするのか）	①駐車場の管理休憩所及びトイレの管理、道路情報機器の管理(国土交通省との協定分) ②物産館での地元特産品や農産物の販売、PR ③レストランの営業
事業の成果 （どのような成果を期待するのか）	①道の駅利用者の利便性や快適性の向上 ②生産物及び特産品の販売促進による地域の活性化

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 （事業の活動量を測る）	① 営業日数	日	363	360	363
	② 集客のための企画	件	5	6	6
	③				
成果 （事業の成果を測る）	① 道の駅(物産館等)利用者数	人	143,973	133,673	121,568
	② 道の駅の経常売り上げ	千円	112,705	104,430	94,115
	③				
投入コスト	決算額		44,556千円	47,492千円	45,698千円
		一般財源	0千円	0千円	0千円
			0千円	0千円	0千円
	人件費	一般職員の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	（決算額+人件費）	44,556千円	47,492千円	45,698千円

事業を取り巻く環境	利用者数と経常売り上げは、東日本大震災の影響もあり3月分が前年同月と比べ特に減少している。新たな農産物直売施設の開設等により道の駅に付設した物販施設の競争が激化している。燃料費の高騰や施設の修繕等により、維持管理費の削減はなかなか進まない。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	国土交通省との協定に基づき維持管理を行う必要がある。 神岡地域の観光推進と農産物(特産品含む)の加工・販売の拠点施設として必要である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	B
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	自主イベントを実施しているが、なかなか利用者の減少に歯止めがかからない。 今後は、基本的なことではあるが、「素朴で親切な接客」「地元産で消費者が安心できる商品の提供」を心がけ、施設の利用率を高める必要がある。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	C
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	経年劣化による施設の老朽化で維持管理費はかさみ、ぎりぎりの経費で施設運営を行っているが、現状の売り上げや利用者を確保しながらのコスト削減は厳しい。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
改善	C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	①この施設は国道13号で一番古い道の駅であり、新しく作られた道の駅ほど規模も大きく、施設も充実している。従ってそれらの施設に客が流れ、本施設は苦しい経営状況が続いている。 ②駐車スペースに止まっている車の台数が多いので、農産物直売所のPRなど工夫次第では収益をアップさせることが可能と思われる。 ③現道四車線化の計画もあり、その場合駐車スペースの減少、反対車線からの車の進入が不可能になることも考えられるので、今後国土交通省と協議し、対応する必要がある。